

2022年8月10日

一般社団法人 浄水器協会  
技術委員会

## **JWPAS B.210 浄水器の除去性能等試験方法に関する規格基準 変更のお知らせ**

浄水器協会自主規格 JWPAS B（2011）浄水器の製品及び性能に関する規格基準のうち、  
JWPAS B.210 浄水器の除去性能等試験方法に関する規格基準を以下のとおり変更いたします。

### 記

#### **1. 変更内容**

- (1) ペルフルオロオクタンスルホン酸及びペルフルオロオクタン酸除去性能試験を追加
  - (2) ペルフルオロオクタンスルホン酸及びペルフルオロオクタン酸ろ過能力試験を追加
- 上記の追加事項については、現行の JWPAS B 規格と同様の規定として扱います。

#### **2. 規格本文の改訂について**

上記追加項目を含めた JWPAS B 規格書は、2022 年度中に改訂版発行の予定です。

#### **3. 追加事項詳細**

別紙の通り。

## 【別紙】

### ペルフルオロオクタンスルホン酸及びペルフルオロオクタン酸除去性能試験

ペルフルオロオクタンスルホン酸（以下「PFOS」という。）及びペルフルオロオクタン酸（以下「PFOA」という。）除去性能試験は、次による。

a) **原水の調製** 水の TOC を活性炭ろ過などによって 0.5 mg/L 以下とした後、この水 100 L に対し、濃度 1 mg/L (PFOS 及び PFOA 各 0.5 mg/L) に調製したメタノール溶液 5mL を加えて、最終濃度が  $0.00005 \pm 0.00001$  mg/L (PFOS 及び PFOA 各  $0.000025 \pm 0.000005$  mg/L) となるように調製し、これを原水とする。

なお、調製した原水中のメタノール濃度は、約 40 mg/L である。目詰まりの要因を形成する可能性があるため、増加させないことが望ましい。

b) **採水** 6.4.2 b) と同様の方法によって行う。ただし、採水は、ガラス瓶又はポリエチレン瓶を用い、容器内に空気が残らないように行う。

c) **測定** 採水したろ過水は、速やかに分析する。分析方法は、水質管理目標設定項目の検査方法（平成 15 年 10 月 10 日付健水発第 1010001 号）による。

分析を直ちに行うことができないときは、試料を冷暗所に保存する。

### PFOS 及び PFOA ろ過能力試験

PFOS 及び PFOA ろ過能力試験は、次による。

a) **原水の調製** 原水の調製は、PFOS 及び PFOA 除去性能試験と同様の方法によって行う。

b) **試験** PFOS 及び PFOA 除去性能試験に続き、6.4.2 b) と同様の操作によって、除去率が一定の値に低下するまでの総ろ過水量を求める。このときの採水及び測定は、PFOS 及び PFOA 除去性能試験と同様の方法によって行う。また、あらかじめ設定したろ過水量に達したときの除去率を求め、その除去率が一定の値以上であるとき、設定したろ過水量を総ろ過水量とすることができる。